

令和3年度入試問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文(出題意図)

<医学部看護学科>

問題1

課題文ではレジリエンスについて、心理学では回復力とか立ち直る力を意味し、ストレスの影響を緩和できる性質である等と説明している。虚しさや納得のいかない自分自身に直面するのを避けるべく気晴らしばかりしていると、自分と直面する機会を失い自分を変えるチャンス逃すこととなり、このレジリエンスが高まらなくなるという弊害があるとも述べている。

問1・問2：

上記のような著者の説明についての文脈の読解能力と、それを限られた文字数で適切にまとめる文章表現能力を問う。

問2：

「レジリエンス」が必要であった自己の経験を振り返ることのできる内省力と、その際に必要と考えられた対処について自己の考えを具体的・論理的に記述する論理構成能力、および文章表現能力を問う。

問題2

表1は65歳以上人口が占める割合の多い集落が、中国圏、四国圏、中部圏等で多いことが示されている。表2では、消滅が危惧される集落の割合が、四国圏、中部圏で多いことが示されている。併せて消滅が危惧される集落のうち交通手段がない集落は北陸圏が最も多く、道路、用排水路、河川の管理が不十分である集落は四国圏、中部圏が多いことが示されている。

問1：

これらの数量データを読み取る読解力、および読解した内容を限られた文字数でまとめる文章表現能力を問う。

問2：

高齢者が多く消滅が危惧される集落の特徴を示すデータから、自然災害が起こった際のリスクを予測する社会的関心や問題意識、またそれをもとに防災に関する課題と対策について論じる力、およびそれらを限られた文字数でまとめる文章表現能力を問う。